

令和4年度決算に対する各会派の意見

政友会

一般会計の予算執行率は、93.7%で昨年93.8%をほぼ維持したことは評価できる。シティブランディングの実施、新型コロナの自宅療養者への食料品無償提供、市内運送事業者への最大50万円の支援等を実施しており、今後も積極的な施策展開を期待する。

佐藤 泉	小森谷博之
鈴木 務	小林登美子
印出 慎也	赤坂 育男
鈴木 隆	渡邊 澄夫

古河市公明党

コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、一般会計の実質収支は26億3,994万円の黒字である。実質公債費比率、将来負担比率ともに健全段階を維持しており財政の健全化は順調と言える。今後も市民ニーズに呼応した街づくりを目指し、賢明な市政運営を望む。

高橋 秀彰	佐藤 稔
靄見久美子	佐々木英徳

市民ベースの会

監査委員から予算執行および事業経営管理も良好とあるが、コロナ禍の影響を大いに受けた決算となった。少子高齢多死時代における庁舎内DX化と業務推進を図り、市民サービス向上と同時に、市民ニーズに応える事業の健全運営ができる新年度予算を望む。

増田 悟	落合 康之
阿久津佳子	立川 徹
佐々木里加	関口 和男

真政会

令和4年度一般会計、特別会計・企業会計決算は、おおむね良好に予算執行されていた。不納欠損額は昨年度より約880万円(7.7%)増となっており留意する必要がある。今後も市民が希望の持てる古河市を創るための施策展開のため、安定的な財源確保が必要である。

黒川 輝男	園部 増治
青木 和夫	稲葉 貴大

会派に属さない議員

健全な予算執行と評価できる。市民ニーズの高い生活道路の管理、公共交通の改善、健康寿命の延伸等の対策を今後一層求める。

古川 一美

監査委員から指摘された不用額24億円余りを基金に積み立てる反面、開発優先で子育て、福祉などを切り捨て、市民に冷たい決算に反対。

秋庭 繁